学校建設急ピッチ

東青山小・東石山中

市では、人口急増地域での学校のマンモス化を防ぎ、子供たちが良好な教育環境のもとで教育を受けられるようにするため、毎年、学校の分離新設を進めてきましたが、四月には、東青山小学校と東石山中学校が、新しく開校します。

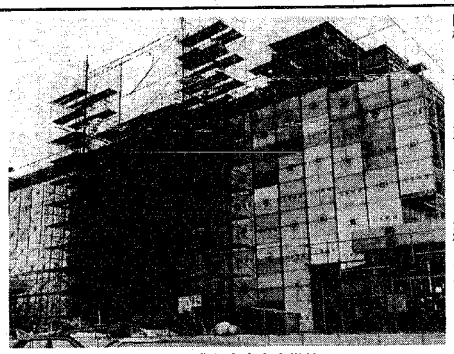
東青山小学校では、四月　ッチで進められています。開校を目指し、工事が急ピ　外観は大体できあがり、吹き付け塗装を残すだけになり、全体の工事進行率としては八〇～九〇㌫に達しています。プールは、水泳シーズンが始まるまでには完成させます。

一方、東石山中学校も、八月完成を目指して工事が進められており、二学期からは新校舎で勉強できる予定です。

〔東青山小〕普通教室二十四、理科室二、音楽室、図工室、家庭室、視聴覚室、図書室、児童会室、管理諸室、給食室、屋内体育館など鉄筋四階建て。プール

〔東石山中学校〕普通教室二十四、理科室二、音楽室二、技術室二、家庭室二、美術室、視聴覚室、図書室、生徒会室、相談室、管理諸室、屋内体育館など鉄筋四階建て。プール

このほか、木戸小、濁川小、山潟小、五十嵐中などの増改築も順調に進んでいます。



建設の進む東青山小学校

エ～、まいど ばかばかしいお笑いを

～チャリティ・わんコイン口演会～

「エ～、まいどばかばかしいお笑いを！」庶民の味方、威勢の良い「熊さん」「八つぁん」が市民の前に登場しました。これは「第二回わんコイン・チャリティ落語口演会」と銘打って、新潟大学落語研究会（近藤明代表）の面々が、日ごろお世話になっている市民の皆さんと楽しいひとときをすごしたいと、一月二十四日音楽文化会館で開いたものです。

当日は、市民約百五十人が来場。「そこつ長屋」、「おおの松」など新大生は日ごろ鍛えた腕を披露しました。ほのぼのとした人情話とツボを押えた話術にお客さんは笑いが絶えませんでした。入場は無料でしたが、会場受付で善意の募金を呼びかけたところ、二万四千円が集まりました。

近藤さんたちは、翌日、早速、市役所を訪れ、「福祉に役立ててほしい」と、集まったお金を全額市に贈りました。近藤さんは「新年のひとときを皆さんと楽しい落語の夕べを持ち、そして、少しでもお役に立ちたいと考えて行いました。来年も、ぜひ、続けてやりたい」と語ってくれました。

大勢の観客の前で、あがりながらも熱演しました。

労働基本調査を実施

市では、このたび、常用労働者五人以上の事業所を対象とした労働基本調査を実施します。

市内の事業所に勤務する常用労働者は約十五万九千人。ところが、そのうちの六〇㌫以上が未組織労働者で、賃金や労働時間、休日など、どんな労働条件のもとで働いているのか、ほとんどわかっていません。

一方、企業においても、最近の経済変動の中でその経営環境はますます厳しく、とりわけ労務面において種々の問題が山積しています。

そこで市では、賃金、諸手当、休日、福利厚生などについて調査して、その実態を明らかにし、事業所や関係団体などの参考資料として提供するとともに、今後の労働行政を進めるにあたっての基礎資料にすることにしました。

調査票は一月末に郵送ずみです。個々の調査票の内容は調査目的以外に使用したり、他にもらしたりしません。どうぞ調査にご協力ください。

鬼〝の〝句〝碑

庄内の人、第十八代の　す。文久二年（一八六二）庵鬼麿、新潟俳壇を指導　住職となる。俳号は月窓　没。辞世の句「秋風のさ　そひに来るや枕もと」

西堀通六　長善寺境内　バス新潟駅から約十五分

石碑を訪ねて……

（文化遺産を大切に）

家庭教育講座 〝現代高校教育を考える〟

非行の増加、基礎学力の低下に象徴される「高校教育の荒廃」が社会問題と化して久しくなる中で、現状に対して、高校教育関係者のワクを越え、広く社会的、市民的なレベルでの検討がされはじめ、その解決は極めて急がれています。これらの中で市民の問題として高校教育をとらえて検討していこうという講座です。

期間　二月十五日～三月二十八日毎金曜日（計七回）

時間　午後六時半～八時半

会場　中央公民館

定員　四十人

申し込み　電話で中央公民館「家庭教育講座」係（☎23―七〇七〇）へ。

月・日	テーマ	講師
2・15	高校教育の現状と課題	江南高校校長 高橋　是成
2・22	今日の学校教育制度における高校教育の位置（制度の変遷と「問題」を見る視点）	新大教育学部教授 榊田　久雄
2・29	高校教育概観（市民にとっての高校とは）	新潟日報取締役 吉田　恭
3・7	高校生の生活指導（非行克服を目ざして）	東工業高校教諭 本田　敏彦
3・14	高校生の低学力（基礎学力の回復にむけて）	市立工業高校教諭 小田　悌吉
3・21	「入試制度」と高校教育	
3・28	高校教育と真の学力	

健康ワンモア

現在における人間ドックの意義

日本で初めて人間ドックが行われたのは一九三八年ときいています。戦後の一九五四年国立第一病院で当時短期入院総合精密身体検査と呼ばれたもので今でいう一週間入院人間ドックです。その後、聖路加病院などで二日入院人間ドック、更に各病院で外来ドックが盛んになり、最近では検査の自動化コンピューター利用のデーター整理、三時間以内診断方法（AMHS）が広まってきました。ドックの簡略化は極めて能率的であり、それはそれなりの意義がありますが、受ける人や健康管理者側にある程度の知識と目的が確立されていなければなりません。特別の身体異常のある人が何か特殊な診療内容を期待してこれを受けることは間違っています。このような人は直接、専門医や専門病院で早目に異常の検索や究明をし、治療を受けなければなりません。現在のドックや集団検診はわれわれの健康生活を維持するために病気を早く診断する方法の「糸口」をさがすのが目標です。（新潟市医師会）

学生募集

～新潟大学商業短期大学部～

目的　勤労学生のための国立短期大学（夜間、3年制）

試験日　3月6日

募集人員　商経学科100人（経済専攻60人、企業経営専攻40人）。うち20％は推薦入学制により選抜。

出願期間　2月9日～15日

照会先　出願書類の請求その他照会は新大商業短期大学部学務係（〒951 新潟市西大畑町5214☎23―6161㈹451）へ

食品営業者の更新申請

2月に更新申請しなければならない食品営業者は下記の地区の方です。該当する人は忘れずに更新申請を行ってください。

なお、組合加入者は組合の指導員の所に申請用紙をもらいに行ってください。申請用紙は各食品衛生組合事務所にあります。

B地区

本町1～14、上大川前1～12、下大川前1～7、古町12～13、東堀12～13、川端町、礎町、雪町、月町、花町、室町、祝町、翁町、横七番町、寄附町、稲荷町、新島通、入船町、附船町、秩川岸、西堀島、窪田町、本間町、菅根町、元祝町、元下島、寄合町、寿町、山田町、湊町、豊照町、海辺町、栄町、受地町、多門、緑町、見方町、相生町、寺山町、柳島、昆沙門町、舜川岸町、忠滅町、並木町、鳥帽子町、芳町、夕栄町、赤坂町、曙町、住吉町、裏雲町、四ツ屋町

新潟県史刊行の案内

「新潟県史」全37巻のうち、今年度末に「近世・下越編」、「近代・明治維新編Ⅰ」が刊行されます。

定価　資料編8…近世三・下越編4,600円、資料編13…近代一・明治維新編Ⅰ4,800円（いずれも送料別、実費）

申し込み　2月末日までに電話または管製はがきに、氏名、住所、電話、入用巻名、冊数と、公用、私用の別、郵送か直接購入（この場合、第一印刷所か旭光社印刷所に出向いて直接購入すること）を明記し、県、県史編さん室（☎23―5511学校町通り1）へ。

婦人の健康づくり 貧血予防講習会

日程

月日	会場	時間
2・6	流作場集会所	午後1時半～3時半
2・7	とやの自治会館	
2・8	とやの農協	

内容　①映画（うすい血）②日常生活について③栄養のとり方など

備考　講習料は無料。テキスト贈呈。婦人検診を受けられた方は、健診結果通知書を持参してください。

お誕生すぎの子どもの食事講習会

日時　2月8日午後1時（受付）～3時半

会場　西保健所栄養指導室

対象　53年2月月から54年1月までに生まれた子供のお母さん

内容　幼児期に必要な栄養、正しいおやつの与え方、偏食とその調理の工夫

持参品　母子手帳